

2

判断推理の基本的な
考え方②

出典	重要度	難易度
東京都	A	Lv.1

6つの商業施設A～Fについて、所在地と業態分類を調べたところ、以下のことが分かった。

- ア A, B, C, Dのうち、東京にあるものは2つであり、百貨店は2つである。
- イ B, C, D, Eのうち、東京にあるものは1つであり、百貨店は2つである。
- ウ C, D, E, Fのうち、東京にあるものは2つであり、百貨店は1つである。
- 以上から判断して、確実にいえるのはどれか。

- 1 Aは、東京にあるが、百貨店ではない。
- 2 Cは、東京にはないが、百貨店である。
- 3 Dは、東京にあるが、百貨店ではない。
- 4 Eは、東京にはないが、百貨店である。
- 5 Fは、東京にあるが、百貨店ではない。

まずはアとイを表にして考えてみます。

						東京	百貨店
ア	A	B	C	D		2	2
イ		B	C	D	E	1	2

AのかわりにEになったら東京の数が1つ減りました。ということは、Aは東京で、Eは東京でないということがわかります。

	A	B	C	D	E	F
東京	○				×	
百貨店						

次にイとウを比較してみます。

						東京	百貨店
イ	B	C	D	E		1	2
ウ		C	D	E	F	2	1

BのかわりにFになると東京が1つ増え、百貨店が1つ減りました。つまりBは「東京にはない百貨店」となり、Fは「東京にあるが百貨店ではない施設」であることがわかります。

	A	B	C	D	E	F
東京	○	×			×	○
百貨店		○				×

これ以上は確定できませんが、肢5の「Fは、東京にあるが、百貨店ではない」は確実に、これが正解となります。

正解

5